

# 第70回国民体育大会

## 我らかく戦う

期 日 平成27年9月6日(日)～13日(日)  
会 場 和歌山県和歌山市

公益財団法人 北海道体育協会

# 我らかく戦う

## 第70回国民体育大会

競技名	種別	評価	予想順位・得点	戦いの展望	有望選手・チーム	特記事項
水泳(競泳)	全種別	3	団体30位、得点15点	成年男子400mメドレーリレー、少年男子A800mフリーリレー、少年男子B400mフリーリレー、少年女子B400mメドレーリレー等のリレー種目で上位入賞を狙いたい。	村上幸汰朗(砂川市立石山中学校3年):全国中学50m自由形8位入賞	連続出場:村上まいか(成年女子)10回 姉妹出場:村上まいか、みいな
体操	成年男子(競技)	3	団体8位	昨年度は12位という結果であったが、演技内容はミスがなく素晴らしい試合を行った。予選でミスがあった種目をそれぞれが修正して大会に臨むことができれば十分入賞できる可能性を持っている。予選の結果を昨年度の本国体の得点と比較すると9位相当で、チーム得点に入る大過失の減点分を加算すると6位相当の得点となる。8位以内入賞を目標として選手の意識付けを喚起している。		連続出場:吉田和輝(5年連続)
	成年女子(競技)	2	団体8位	競技レベルは低いチームですが、その中でできる秘策を見つけ、出場チームの中で1番ミスのないチームにする。	坂崎凜:昨年度から北翔大学に進学し、1年生ながらインカレ2部で個人総合優勝に輝いています。また、国体の連続出場も今回で6回目と非常に有望な選手	連続出場:坂崎凜(6年連続)
	少年男子(競技)	1	団体24位	昨年度は本国体での出場の中で下から2番目の位置につけた。今年度の予想としては、昨年度同様、力的には最下位に位置している。昨年度と違うのは、北海道のレベルは昨年よりも若干上がってきているが、他の県ではもっと上がってきている。事前合宿を通して、最も得点の高くなる演技構成や演技順を模索し臨みたい。		
	少年女子(競技)	3	団体18位	昨年同様、5人中、中学生3年生が3人という若いチームであるが、昨年よりもポイントを取れる選手が多く、各種目ポイントを取れる選手が良いパフォーマンスができれば予選通過できると考えている。	加藤千晴:一昨年出場経験があり、4種目で点数を取れる	加藤千晴:今年度インターハイ女子団体18位
	少年女子(新体操)	3	団体15位、個人15位	今大会は単独チームということで団体の得点を伸ばしていきたい。練習からの団体の調子で個人の動きも変わってくるので、団体の演技を整え、個人は最大限得点を伸ばせるようにしていきたい。そしてノーミスの演技を積み重ねていくことで、順位を上げていきたい。		
セーリング	全種別	3	個人3位、得点6点	少数精鋭で入賞を目指します。	植田望裕(北海道シュタイナー高等学園いずみの学校3年):長崎国体で入賞を逃したが、今回はさらにレベルアップして入賞を目指します。	